

IV 家庭・地域との連携

1 授業公開ならびに授業参加

道徳の授業を行っていくうえで家庭との連携を深めるため、学習参観では全クラス、学年ごとに同じ内容項目で道徳の授業を公開した。その際、参観に来た保護者にインタビューに答えてもらったり、役割演技やゲストティーチャーとして授業に参加してもらったりした。



1年 世話になっている人 (感謝)

いつもお世話になっているおうちの人に「ありがとう」と伝えています。



2年 家族の役に立つ

(家族愛, 家庭生活の充実)

おうちの人から事前に書いてもらった手紙を読んでいます。



3年 悔しさをバネに

(希望と勇気, 努力と強い意志)

ゲストティーチャーとして、体験談を話していただいています。



4年 生命の尊さ (生命の尊さ)

おうちの人からの手紙を読み、終末におうちの人へ書いた手紙を読んでいます。



5年 目標に向かって

(希望と勇気, 努力と強い意志)

おうちの人と一緒に自分について考えています。



6年 家族の幸せを求めて

(家族愛, 家庭生活の充実)

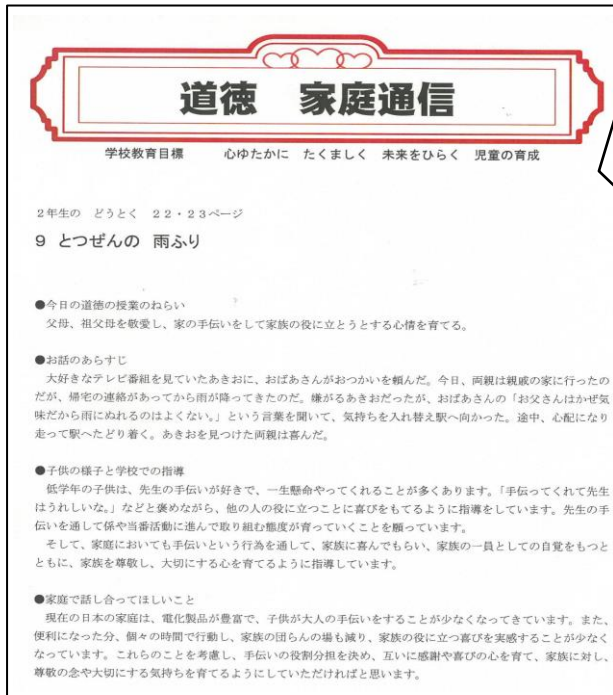
「家族とは？」という題で、家族についての思いを語っていただいています。

～ 授業参観後の感想より（一部抜粋） ～

- 授業参観では、人の気持ちを察し相手の立場で考えることを学んでいるのでとても大切だと思ふ。また、感情表現や豊かな気持ちもはぐくまれると思われる。道徳のプリントを持ち帰ることにより、家でも子どもと話し合い改めて気付かされることもある。（1年）
- 今回の道徳の授業を参観して、まずは、この考え方が正解です。というのではなく、それぞれが思ったこと、感じたこと、自分だったらどうかななどと、いろいろな角度から自由にたくさんの意見を出し合っていることを感じられました。その中でお友達の意見を参考にしたり話し合ったりしながら、その場面で頑張ることや優しい気持ち、善悪などを自分で考え、見つけながら学べていけているのではないかと感じました。また、先生（大人）側も一人ではなく複数の考えを取り入れた授業体制（※TTでの授業）もとても良いと思いました。（3年）
- 道徳の授業では、以前から家庭で話し合う題材をやってもらえて子どもの気持ちを知り、私や家族の気持ちを知ってもらえるいい機会となっています。今回も「お手伝い」ということでお友達のお手伝いの様子を聞いたり「心の中の声」を聞いたりすることができ、子どもの新しい一面も見られた気がして私自身も勉強になりました。また、おうちの人からの手紙を読みながら、みんなうれしそうにしているところを見てお家でももっと「ありがとう」と伝えてあげようと思いました。（2年）
- 今回の道徳では「生命尊重」ということで事前に子ども宛に手紙を書きました。内緒にしていたので子どもたちはとても喜んでいました。その手紙のお礼のお手紙を読んでくれて、親も嬉しかったと思います。それぞれの年齢に合わせた道徳の授業でした。素直な心を持ったまま成長してくれるよう願っています。（4年）

2 道徳家庭通信発行・ふり返しシート

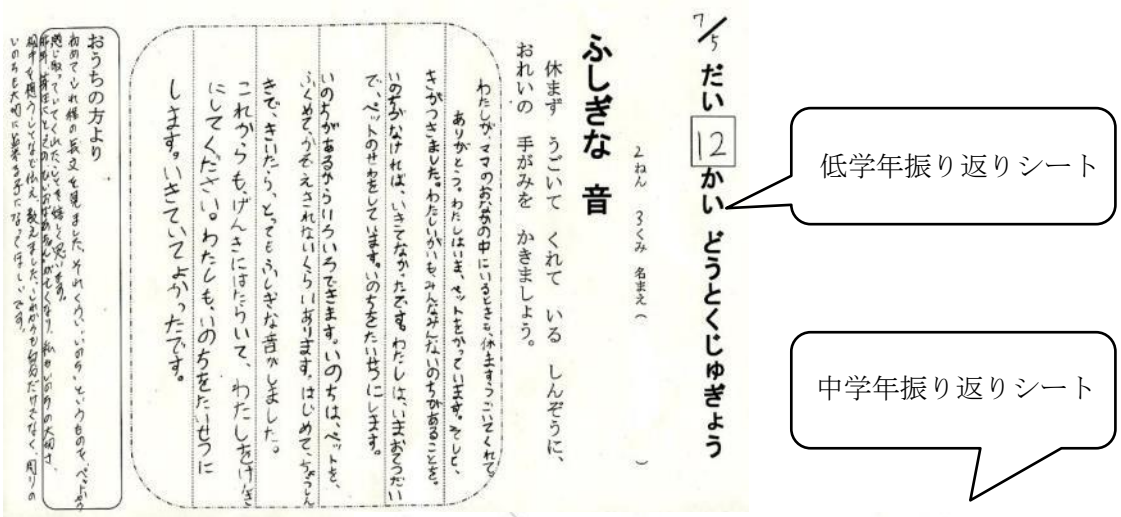
毎時間、道徳の授業後に「授業のねらい」「お話のあらすじ」「子どもの様子と学校での指導」「家庭で話し合っしてほしいこと」を『道徳家庭通信』で知らせています。



保護者さんからのコメント

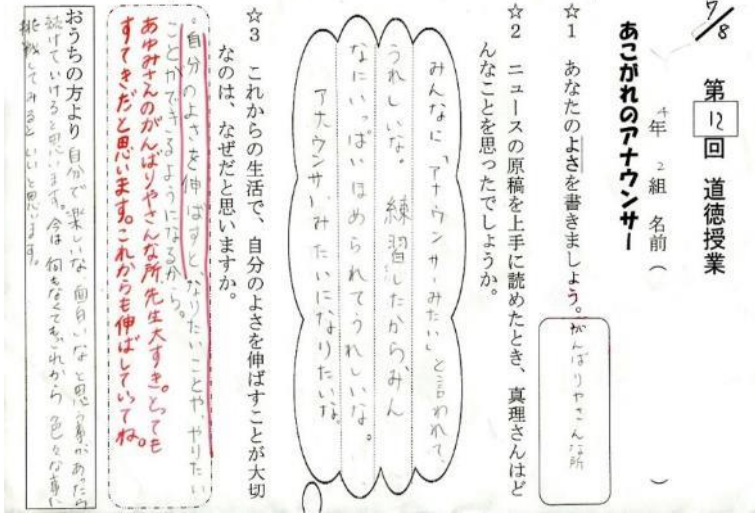
○道徳の授業で配られる「道徳家庭通信」をいつも参考にさせていただいています。「今日の道徳、どんなだった？」と話すきっかけにもなりますし、何よりも学校での指導と家庭での指導を一致させて子どもと話をすることができてとてもありがたいです。本来なら日常生活の中、家庭で教えたりしつづけたら、その都度していかなければならないことを学校側から機会を与えていただいている感じです。また、色々なご家庭があるかと思いますが、共通の規範を示す役割もしていると思います。（2年）

○日々勉強に努力することも大切ですが、道徳は、これからの成長に一番必要なことだと感じました。親の立場になっても道徳のプリント（振り返りシート）を見ると改めて考えさせられることが多いです。学校という集団生活の中で子どもが何か色々なヒントをもらえたらいいと感じます。（3年）



低学年振り返りシート

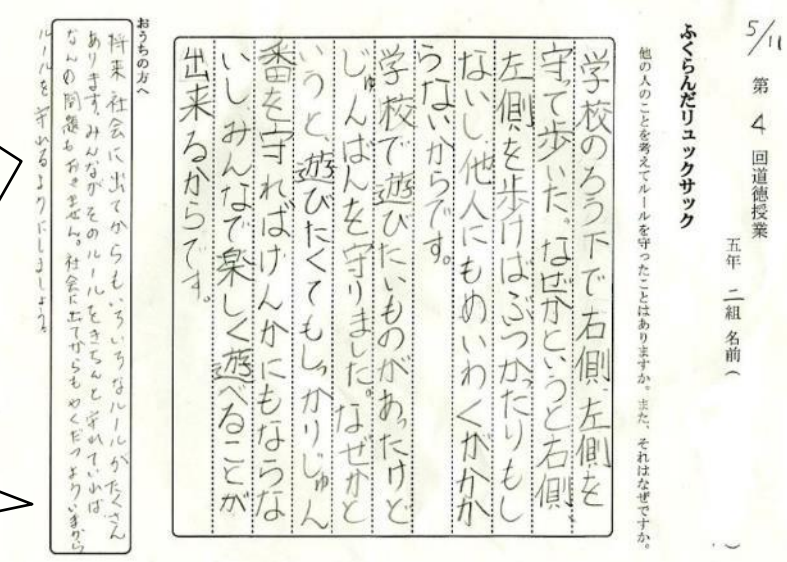
中学年振り返りシート



4年 2組 名前 ()
☆1 あなたのよさを書きましょう。
☆2 ニュースの原稿を上手に読めたとき、真理さんほど
んなことを思ったでしょうか。

将来社会に出てからもいろいろなルールがたくさんあります。みんながそのルールをきちんと守っていれば何の問題もありません。社会に出てからもやくだつようにまからルールを守れるようにしましょう。

高学年振り返りシート



5/11 第 4 回 道徳授業 5年 二組 名前 ()
ふくらんだりユックサック
学校のろう下で右側左側を守って歩いた。なはかという右側左側を歩けばぶつかたりもしないし他人にもめいわくかかろうないからです。
学校で遊びたいものがあつたけれどじんはんを守りました。なせかというと遊ばたくてもしかりけん番を守ればけんかにもなうないしみんなが楽しく遊べるのが出来るからです。

子どもの振り返りシートを持ち帰って保護者に見ていただき、一緒に考えることを通して、家庭でも道徳の授業について話し合い、家庭と学校の連携を深めています。